

いわ なが る み
岩永留美さんBLS(ベーシック・ライフ・サポート)くまもと代表
ボランティア団体「はーとりんく・くまもと」代表

PROFILE

1971年熊本生まれ。看護師。
国際救急法インストラク
ターを取得し、救急法を
伝えるボランティア団体
を設立。2014年BLSくま
もとを設立。2児の母。

いざという時、
助けを求めることができ、
それに応じられる人が
増えればいい

BLSくまもと

熊本市東区若葉 1-1-2
グランヴェール若葉 401号
URL: <http://bbs-kumamoto.com/>
TEL: 090-8761-5122はーとりんく・くまもと
熊本市東区戸島西 1-29-31-902

一お仕事の内容を教えてください。

岩永 2014年に設立したBLSくまもとは、職業人向けに講座を開き、救急法の国際認定資格を発行しています。また、並行して「はーとりんく・くまもと」というボランティア団体で、病気や事故で助けを必要とする人が、救急車で搬送されるまでに行うことができる救急法の講座を開いていま

す。BLSを立ち上げるまでは、看護師をしながらボランティア活動を続けていました。

一ボランティア団体を設立しようと思ったきっかけは？

岩永 35歳の時、自宅で心臓発作を起こしました。救急搬送された病院でAED(心臓救命装置)の処置を受け命が続き、「人生には思いがけ

ない時に思いがけないことが起こる。人は、支えたり支えられたりしながら生きていくのだな」と強く感じました。そして、いざというときに誰かに助けを求めることができ、その助けに応じることができる人が増えればいいと思い、救急法を伝える活動を始めました。

一看護師とボランティア活動と家事、どのように両立させていたのですか？

岩永 夫は、育児も家事も協力的です。私が両立したと言うより、家族が理解・協力してくれているのだと感謝しています。

一今後の目標を教えてください。

岩永 多くの人に、「求められたときに、ためらわずに人を助けられる技術と知識を伝えること」です。手をさしのべることは、心をさしのべること。そんな人が増えていけば、いい地域になると思います。

手と心をさしのべる救急法を通して、子どもたちにも、人としての「たしなみ」を身につけてほしいと思っています。



輝きの軌跡

岩永留美さんの
キャリアストーリー

- | | |
|-------|-------------------------|
| 1993年 | 看護師資格取得、看護師として勤務 |
| 1995年 | 結婚 |
| 2001年 | 第1子出産 |
| 2003年 | 第2子出産 |
| 2007年 | 心臓発作で倒れる |
| 2010年 | ボランティア団体「はーとりんく・くまもと」設立 |
| 2013年 | 看護師として勤務していた病院を退職 |
| 2014年 | BLSくまもと設立 |